

大道芸アジア月報 2023 年 3 月

vol. 35, no. 3

編集・発行人 上島敏昭

〒165-0025 東京都中野区沼袋 2-31-2

春山荘・東

★大道芸案内

主な大道芸スポット（土・日・祝日など、通年大道芸が見られるポイント）

■大阪・天保山海遊館広場 <https://www.kaiyukan.com/thv/marketplace/>

■大阪パフォーマーライセンス <http://www.osaka-performer.com/index.php>

■名古屋・大須ふれあい広場 ■名古屋 POP UP ARTIST <http://popup-artist.com/index.html>

■しずおか大道芸の街 <http://shimarukai.org/> ■江ノ島大道芸 <https://www.fujisawa-kanko.jp/feature/daidoge.html>

■ヨコハマ大道芸（山下公園、グランモール公園、ジャックモール） <http://daidoge.jp/>

■お台場・デックス東京ビーチ ■みなとみらい東急スクエア ■テラスモール湘南 www.studioeggs.com

■東京都へブンアーティスト www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/bunka/

■仙台まちくるパフォーマーズ <https://machi-kuru.com/performers>

※新型コロナウイルスの蔓延状況によって実演していない場所もあります。確認の上、お出かけください。

★今月の大道芸公演

△鈴木清写真展「天幕の街 MIND GAMES」 <https://fujifilmsquare.jp/> ○フジフィルムスクエア写真歴史博物館

●1月4（水）～3月29（水）

△にんぎょひめ <http://kitabunka.or.jp/event/10582/> ○北区・北とびあつじホール

●3月5（日）11：00～ /15：00～

演出：to R mansion、脚本：目次立樹、脚本監修：松居大悟

出演：t R mansion（上ノ空はなび、野崎夏世、丸本すばじろう）、藤田善宏、Coppelia Circus、ヤノミ、ケンノスキー、チャタ、遠藤昌宏

一般：¥3000、高校生以下：¥1500、小学生以下：¥1000、※北区民割引あり

問合せ：03-5390-1221（北区文化振興財団）

△下市タウンフェスティバル国際大道芸 https://mitokoumon.com/event/experience/shimoichi_fes/ ○水戸市ハミングロード 513

●3月5（日）10：00～16：30

EPPAI&マサトモジャ、ココナッツ山本、松鶴家 天太、芸人まこと、加納真実、SUKE3&SYU、Asterisk Nova、川村建太、ブラックエレファンツ

△OUR FESTIVAL SHIZUOKA2023 <https://www.c-c-c.or.jp/lp/ofs2023> ○静岡市内各所

●3月11（土）12（日）

現代サーカス ○青葉シンボルロード 両日とも 12：30～ /14：45～（各回 30 分ずつ） 出演：うつしおみ

一輪車パフォーマンズ ○青葉シンボルロード 両日とも 12：15～ /14：30～（それぞれ 15 分ずつ） 出演：静岡城内一輪車クラブ

アワーフェス解放区！ ○MIRAIE リアン コミュニティホール七間町、ARTIE アートガーデン、人宿町やどりぎ座、葵スクエア

出演：MJC 静岡、マジカルおじさん、バルーンパフォーマー ASUKA、サーカスアーティスト Kenshiro、フラ ハーラウ オ マウロア、

Mira Creare！（ミラ クレアール！）、Moipa Genesis！（ミラ ゲネシス！）、レプリカさん、すり〜びりす、Sho-彰、

ジャグリングドラゴン ヒョウガ、劇団静火、SHIZUOKA DANCERS、Dance Company “恋するシニア”、Yamato、

バルーンパフォーマーともちゃん、スピロ平太、かなちんどんバンド with ぱびよんず、剣詩舞スーパーチーム、咲野壺樹、

穴の会、ホップマン

△第 31 回亀戸大道芸 <https://www.kameidodaidoge.com/> ○亀戸十三間通り商店街

●3月12（日）12：00～16：00

Box performer まさきち、サクノキ、ひいろ、見習い魔法使いゆうた、招福、YAMASAN、mimosa、PIRATA MITIYO、

ハードパンチャーしんのすけ

△ダメじゃん小出ソロライブ「こいでいいのだ!!」 vol.8 <http://koideiinoda.jp/theaterlive.html> ○両国門天ホール

●3月18（土）昼の部 14：00～ /夜の部 18：00～

前売：¥3000（当日 ¥3500）

問合せ：080-3306-4695

△みなとみらいフェスティバル 2023（supported by キヤノンイーグルス） <http://daidoge.jp/> ○みなとみらい各所

●3月18（土）19（日）

△春の劇場・春休みアクロバティック・ミュージック <https://www.za-koenji.jp/home/index.php> ○座・高円寺 1

●3月24（金）19：00～ /25（土）14：00～&19：00～ /26（日）19：00～

カンパニー H.M.G.「3D」

構想・作曲：ジョナタン・ギンシャル、出演：ジュール・サドゥギ、ミカエル・ルギユ

大人：¥3500、中学生以下：¥2000、ペアチケット：2枚まとめて購入すると500円割引

問合せ：03-3223-7500（座・高円寺）

△牡丹町笑楽会お花見マルシェ【江東会いフェス in 牡丹町】 https://twitter.com/koto_aimashow/status/1628645430216077312

●3月26（日）10：30～15：00 ○江東区牡丹町

三雲いおり、ロコモコブラザーズ、しょぎょむじょーブラザーズ、プリコロハウス、りずむらいす、エル、まめ、茶番茶番茶、TigerAYS+、満腹、ミホウ

△大阪パフォーマーライセンス認定審査会 <https://www.osakaperformer.com/audition.html> ○大阪南港 ATC メインゲート

●3月27（月）

一次選考通過者：clown レオ、パフォーマーささまん、ウォーターアートパフォーマー堀川玄太、パフォーマーASUKA、ジャグリングドラゴン ヒョウガ、マジシャンYuta、Stick performer ハタダ

△亀戸梅屋敷 10 周年祭【江東会いフェス大道芸コーナー】 <https://kameido-umeyashiki.com/event/0v1w7t8d2>

●4月2（日）10：00～17：00 ○亀戸梅屋敷

りずむらいす、こーすけ

△ミュージッククラウン&サーカス「虹色組曲」 <https://www.tajimi-bunka.or.jp/gakushu/?p=13280>

●4月8（土）18：00～ /4月9（日）11：00～ /15：00～ ○ヤマカまなびパーク（多治見市学習館） 7 階多目的ホール
オーバーターン、叶結一カナウノットー

大人¥2000、子ども（中学生以下）¥1000

予約 電話：0572-23-7022 メール：info-manabi@tajimi-bunka.or.jp

主催：大道芸地位向上委員会 共催：ヤマカまなびパーク

△第 6 回多治見大道芸見本市 <https://tajimidaidougei.jimdofree.com/> ○岐阜県多治見市 虎溪用水広場、JR 多治見駅、多治見市役所

●4月15（土）16（日）

アートパフォーマー☆ファイター☆、アストロノーツ Mark2、Witty Look、エル、おろしぼんづ、オマールえび、くす田くす博、工藤正景、近藤流 曲独楽師 独楽太郎、komatan、催眠術師じゅんいち、サンキュー手塚、じゃぐたく、終末キモイン健山、少年と少女、大道芸人ジーニー、大道芸人ぼびー、CHIKI、ちゃんへん、中村友美、パフォーマーASUKA、HOOPER MAEP、豊来家幸輝、Box Theater HANE、三雲 いおり、ものまる、リューセー、Ray、Rei Iwakura

主催：多治見まちづくり株式会社 多治見市 協力：大道芸地位向上委員会

△第 27 回深川美楽市 <https://www.birakuichi.com/>

●4月16（日）11：00～17：00 ○高橋夜店通り商店街（のらくろ〜ド）歩行者天国

●4月23（日）11：00～17：00 ○深川資料館通り商店街、三好・白河三丁目界隈歩行者天国

△第 11 回モリコロパーク大道芸フェスティバル <https://mrkrddg.com/> ○愛知県・愛・地球博記念公園・大芝生広場

●4月22（土）23（日）10：00～16：00

安慶-age、handpan&didgeridoo、idio 2（22 日のみ）、エクストリーム芹川、Entertainer Hi 2（23 日のみ）、オマールえび、叶結、くす田くす博、Kei、こ〜すけ（23 日のみ）、小林智裕、komatan、近藤流 曲独楽師 独楽太郎、サンキュー手塚、じゃぐたく、ジャグリングドラゴン ヒョウガ、終末キモイン健山、すごろく、SAME SAME、大道芸人ジーニー、大道芸人ちんねん、ダンディふくちゃん、CHIKI（23 日のみ）、拾え歌団（22 日のみ）、熱血大道芸人ドラマチック・ガマン、パフォーマーASUKA、performer ZEN、パフォーマーメンストリオ CZ↑、バルーンパフォーマー哲、豊来家幸輝、Box performer まさきち、MAGICIAN HIROSHI、ミコアポコ、めぐみ梨華、ものまる、Yo-Yo Entertainer TOMMY、リューセー、Ray 麗、Rei Iwakura

【スタチュー】アストロノーツ、C.C（22 日のみ）、shino、Statue Kal、なにみてるの

【ライブペイント】アートパフォーマー★ファイター、中村友美 【バルーンアート販売】てりやき 【似顔絵販売】みしゃみしゃちゃん

【主催】モリ芸実行委員会/NPO 中部大道芸ネットワーク

若林正の

食って極楽

小田急線の駅前食堂・・・

狛江「狛江食堂ニュースター」

現在狛江のスタジオで芝居の稽古中。昼から夜 10 時近くまで舞台作り励む日々だ。狛江は、日本で二番目に小さな市である。（一番小さいのは、ワタシの住む蔵市）個人的に色々思い出のある街だけど、その駅前にあるのが、狛江食堂ニュースター。三十数年前、狛江に住む友人から「狛食のラーメンは美味しいよ」と聞いていたことを思い出して入ってみた。

駅前ビルの二階。当時の駅舎は建て替えられ、駅周辺も再開発されたが、その一角はほぼ昔のまま。ただ最近までこの店に気付かなかったのは不思議？ 店内は古びてレトロな雰囲気、メニューは和洋中と豊富だ。

夜 8 時頃の入店で、数組のお客は皆酒を飲んでいる。一杯やろうかとも思ったが、腹減ってたので食事のみにする。ラーメンにするか迷ったが、壁の張り紙を見て生姜焼き定食¥930 に、百円足して豚汁を付ける。飯はお代わり自由！ 肉が 150 グラムとボリューム満点だけど...うーん固い。安い小間切れ肉で味付けもイマイチ。



多めにマヨネーズが添えてあったのでとりあえず食べられたけど……。店員は元気で愛想良くて◎

聞いてみると、一昨年オープンの店だと！ 昔聞いた狛江食堂とは別物だった...残念!!

○それでもラーメンは食べてみたい度＝3 ワカ

東京都民俗芸能大会とユネスコ

無形文化遺産

上島敏昭

○東京都民俗芸能大会

第 54 回となる東京都民俗芸能大会が、2 月 4 日と 5 日に開かれた。観客をいれての開催は四年ぶりとのことで、コロナ禍を脱して、いよいよ日常生活が戻ってくると予感させてくれる催しとなった。今回は「ユネスコ無形文化遺産記載記念 風流踊の世界」と題して、両日とも、四組の団体が出演した。

2 月 4 日は、水止舞（大田区）、下平井の鳳凰の舞（日の出町）の二団体と、都内で継承する地方の芸能として二子流東京鬼剣舞（岩手県）と西馬音内盆おどり（秋田県）が、2 月 5 日は、白鷺の舞（台東区）と花畑大鷲神社獅子舞（足立区）小河内の鹿島踊り（奥多摩町）の三団体と、学生団体として桜美林大学のエイサー（沖縄県）というプログラムである。

東京都の民俗芸能大会をみて、毎回思うことは、人口一四〇〇万人を超える巨大都市であり、高層ビルの乱立する日本の首都に、百年以上前からつづく民俗芸能がよく残っていたということ。大きな驚きである。と同時に、いずれの団体も継承者の問題に頭を痛めているらしいということ。その悩みは、過疎化がすすみ、限界集落と称される地区に伝わる民俗芸能といっこうに変わらない。また、そうした反面、数年前から出演するように

なった「都下で継承・活動する地方の芸能」の団体の多いことにも、改めて目を見張らされた。学生団体に出演してもらうというのも、今年からはじまった企画のようだが、全国高校文化祭の「民俗芸能部門」に出演する各地の高校生たちの元気の良さ、多彩さを思うと、新しい発見がありそうで楽しみでもある。

ところで、気になったのは、各演目の前に、専門の先生方がていねいな解説をしてくれるのだが、だれも「風流踊とはなにか」を説明してくれなかったこと。「風流踊」といって、すんなりと理解できる人が、どのくらいいるのか。すくなくとも私は、よく知らない。当日配布されたプログラムには、世界文化遺産と風流について、書かれてはいるのだが、やはり、一般的な解説はすべきだったと思う。そこで今回は、この問題について書いたみたい。

○風流とは

「風流」を辞典類で調べると、コムズカシイことが、いっぱい書いてある。やはり簡単な言葉ではないのだ。私流に簡単にまとめてみる。まず、「風流」は芸能としては「フウリュウ」と読まずに「フリュウ」と読む。「フウリュウ」という一般名詞は、上品で雅らかというような意味だが、「フリュウ」と読むと「日本芸能の一つ。趣向を凝らした作り物や仮装を伴う」と、『広辞苑』には出てくる。さらに「風流」を冠したいくつかの伝統芸能が述べられており、そのなかに「風流踊り」の項もあって、次のように記述されている。

〈民俗芸能の群舞。念仏踊、太鼓踊、獅子踊、小歌踊、奴踊、盆踊など。「浮立」とも書く。〉

今回の民俗芸能大会に即していえば、まさしくこの解説がぴったりであろう。

ついで書いておくと、昨年 11 月におこなわれた「見世物学会」での、和田修（早稲田大学教授）の講演テーマが、「風流（ふりゅう）・飾り物・仮装」であった。内容は、長崎県波佐見町に伝わる「野々川浮立」のなかの「虎浮立」の写真を糸口に、風流という芸能についての解説であった。それを簡単にまとめると次のようになる。まず風流という芸能の背景には御霊信仰があるという。つまり荒ぶる怨霊を鎮めるために、怨霊を神としてまつりあげ、その霊をき



●野々川浮立より虎浮立

らびやかに飾り立てた作り物や山車などの「依り代」に憑依させて、鉦や太鼓で囃し立てて、引き回し、最後に流してしまう。これが風流の基本構造で、京都の祇園祭ややすらい祭りなどがその典型とされ、中世にはすでにおこなわれていた。両者は現在もおこなわれ、代表的な「風流」といえるようだ。つまり、このように考えると、風流は、芸能の精神とか思想、あるいは、祭りそのものともいえよう。

すこし古い本だが『演劇百科大事典』（平凡社、1961 年）の「風流」の項には[郷土舞踊の風流]の小見出しがあって、次のように記している。

〈各種の風流は諸国に伝わり、さまざまの変化をもって現在も行われている。いわゆる郷土舞踊の多くは、この風流脈のものといつてよい。すなわち西日本に分布している太鼓踊・鞆鼓踊・雨乞踊・ざんざか踊・楽打ち・風流神踊・風流など……東日本に分布している……獅子（猪・鹿・竜）頭のものを中心に、ささらを摺る花笠のものや棒遣いや……ほとんど全国的念仏踊や盆踊……小歌踊、七福神踊・松囃・悪魔はらいの綾踊、また祭礼の山鉦・山車・壇尻（だんじり）などのねりもの、ひきもの、仮装行列など……近世、異常の発達をみた歌舞伎も……なお、佐賀・福岡・長崎の三県に行われている「浮流」……これらいずれも風流の一種である。〉

ここまでいってしまうと、いわゆる民俗芸能、郷土芸能の大半は、「風流」となってしまうだろう。素人考えとい



●東京都民俗芸能パンフレット

われるかもしれないが、「風流」を芸能の一ジャンルと考えるには無理があるように思う。

○ユネスコ無形文化遺産に登録された「風流」

今回のユネスコ無形文化遺産の対象となった民俗芸能「風流」は、24 都府県の 41 件とある。一覧表をみると、41 件とはいいいながら、京都の六斎念仏などは 15 団体もあり、岩手の鬼剣舞も 4 団体もあるのだから、関連団体はもっと多い。しかし、前記の風流の定義に立ち返れば、これでもだいぶ選別されている。そのあたりはどうなっているのか。

当日配布されたパンフレットに、この民俗芸能大会実行委員の久保田裕道さんが「ユネスコの無形文化遺産と「風流踊」」と題する文章を寄せている。ここで「無形文化遺産という制度」についてこう述べている。

〈よく「世界遺産」と混同されがちなのですが、実はまったく異なる制度〉と書く。世界遺産は〈「顕著な普遍的価値」、つまり人類全体の宝〉だが、無形文化遺産は〈普遍的価値よりも「多様性」が重視される。〉それゆえ世界遺産のように「登録」されるのではなく、あくまでも一覧表に「記載」される。つまり、報道などで「登録」といわれているのは正確ではない。これだけでも、わたしには目からウロコだった。

日本はこの制度をつくる際に「大変貢献」したといい、この制度ができて以来、すでに「能楽」「人形浄瑠璃文楽」「歌舞伎」を皮切りに、つぎつぎと記載を決めてきた。民俗芸能でも「チャッキラコ」（神奈川県）、「早池峰神楽」（岩手県）、「秋保の田植え踊」（宮城県）などが申請された。ところが〈近年あまりに多くの申請をしたために、ユネスコの事務局が対応しきれない〉状態となり、〈日本では、一件ずつ申請するのではなく、グループを作ってまとめて提案〉するという形となった。こうして「和紙：日本の手漉和紙技術」、「山・鉾・屋台行事」、「来訪神：仮面・仮装の神々」、「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための技術」が提案されてきたと、近年の経緯をのべる。

そして今回については、つぎのように述べている。

〈既に記載されている「チャッキラコ」を拡張させる形で、国指定重要無形文化財である風流系芸能 41 件がまとめて記載されるに至ったのです。グループ化に

際しては、もともとチャッキラコについて提案するはずだった「綾子舞」を有する香川県まんのう町の尽力で「全国民俗芸能『風流』保存・進行連合会」が結成されています）

つまり、学識経験者や研究者の団体とか国の機関が選択、推薦したのではなく、民間の組織それもおそらくこの申請のために作られた組織のメンバーが、そのままユネスコに申請され、受理されたという経緯であるようだ。

研究家や国の機関などの客観的な視点から選択すれば良くて

民間が自己申告したものがダメという気はないが、なんだかしっくりしないのも事実だ。十把一絡げ式のやりかたにも違和感がある。

○大勢でおどる

今回のユネスコ無形文化遺産には、東京都では「下平井の鳳凰の舞」（日の出町）、「小河内の鹿島踊り」（奥多摩町）、新島の大踊（新島村）が対象となっている。今回、新島の大踊は見られなかったが、ほかの二つの芸能をみることはできたのは幸運だった。さらに「西馬音内盆踊り」（秋田県）、鬼剣舞（岩手県）も、今回の「ユネスコ無形文化遺産」に記載されたメンバーであり、「白鷺の舞」（台東区）は、お手本である島根県津和野の弥栄神社の鷺舞もメンバーである。はじめに書いたように、東京でこれだけの民俗芸能が継承されているという事実は、やはり驚異的なことだと思う。ユネスコ無形文化遺産が、多様な文化への尊敬の表れという意味であるならば、今回の

民俗芸能『風流』一覧（都道府県別）		
都道府県	名称	保存団体
岩手県	永井の大念仏剣舞(S55)盛岡市	永井大念仏剣舞保存会
	鬼剣舞(H45)北上市、奥州市	鬼剣舞保存会(岩崎鬼剣舞保存会、蒲田鬼剣舞保存会、杉ノ木沢念仏剣舞保存会、河西大念仏剣舞保存会)
秋田県	西馬音内の盆踊(S55)雄勝郡羽後町	西馬音内盆踊保存会
	毛馬内の盆踊(H10)鹿角市	毛馬内盆踊保存会
東京都	小河内の鹿島踊(S55)西多摩郡奥多摩町	小河内の鹿島土芸能保存団体協議会
	新島の大踊(H17)新島村	新島大踊保存会、若都大踊保存会
	下平井の鳳凰の舞(H16)西多摩郡日の出町	鳳凰の舞保存会
神奈川県	チャッキラコ(S51)三浦市三崎	ちゃっくらこ保存会
	山北のお囃入り(S56)足柄上郡山北町	お囃入り保存会
新潟県	綾子舞(S51)柏崎市	柏崎市綾子舞保存振興会
	大の飯(H10)魚沼市	大の飯の会
山梨県	無生野の大念仏(H17)上野原市	無生野大念仏保存会
長野県	諏訪の踊り念仏(H12)佐久市	諏訪踊り念仏保存会
	新野の盆踊(H10)下伊那郡阿南町	新野高原盆踊りの会
	和合の念仏踊(H26)下伊那郡阿南町	和合念仏踊り保存会
岐阜県	藤上踊(H8)郡上市	藤上踊り保存会
	寒水の舞踊(R3)郡上市	寒水舞踊保存会
静岡県	徳山の盆踊(S62)榛原郡川根本町	川根本町徳山古典芸能保存会
	有東木の盆踊(H11)静岡市	有東木芸能保存会
愛知県	綾波の夜念仏と盆踊(H49)豊田市	綾波夜念仏と盆踊り保存会
三重県	勝手神社の神事踊(H30)伊賀市	勝手神社神事踊保存会
滋賀県	近江湖南のサンヤレ踊り(R2)草津市、栗東市	草津のサンヤレ踊り保存協議会、小枝祭り保存会
	近江のケンケト祭り長刀振り(R2)守山市、甲賀市、栗近江市、瀬生郡竜王町	近江のケンケト祭り長刀振り連合保存会
京都府	京都の六斎念仏(S58)京都市	京都六斎念仏保存団体連合会(堀津六斎保存会、吉祥院六斎保存会、空也念仏部保存会、久世六斎保存会、小山堀六斎保存会、西院六斎念仏保存会、西方寺六斎念仏保存会、嵯峨野六斎念仏保存会、千本六斎会、中堂寺六斎会、玉生六斎念仏講中、上鳥羽橋上総講中、六波羅堂寺空也講座念仏保存会、円覚寺六斎念仏講、桂六斎念仏保存会)
	やすらい花(S62)京都市	やすらい踊保存団体連合会(今宮やすらい会、上賀茂やすらい踊保存会、川上やすらい踊保存会、玄武やすらい踊保存会)
	久多の花笠踊(H8)京都市	久多花笠踊保存会
	阿万の風流大踊小踊(H22)南あわじ市	阿万風流踊保存会
奈良県	十津川の大踊(H1)吉野郡十津川村	十津川村小原蔵蔵西川大踊保存会(小原踊保存会、武蔵踊保存会、西川踊保存会)
島根県	津和野弥栄神社の鷺舞(H6)鹿足郡津和野町	弥栄神社の鷺舞保存会
岡山県	白石踊(S51)笠岡市	白石踊会
	大宮踊(H9)真庭市	大宮踊保存会
徳島県	西祖谷の神代踊(S51)三好市	神代踊保存会
香川県	綾子踊(S51)仲多度郡まんのう町	佐文綾子踊保存会
	清宮の念仏踊(S52)綾歌郡綾川町	清宮念仏踊保存会
福岡県	豊前楽(R2)豊前市	豊前感応楽保存会
長崎県	平戸のジャンガラ(H9)平戸市	平戸市自安和楽念仏保存振興会
	大村の沖田踊・黒丸踊(H26)大村市	沖田踊保存会、黒丸踊保存会
	対馬の盆踊(R3)対馬市	対馬盆踊保存連合会
熊本県	野原八幡宮風流(R3)荒尾市	風流節踊保存会
大分県	吉弘楽(H8)国東市	吉弘楽保存会
宮崎県	五ヶ瀬の荒踊(S62)西臼杵郡五ヶ瀬町	荒踊保存会
41件(24都府県、42市町村)		

催しは、そのお祝いの絶好の機会であったと思う。心からおめでとうございますといいたい。

解説のパンフレットで久保田さんは、風流踊の特徴として「大勢で踊る」ことをあげている。そして〈昨今のコロナ禍では大勢の人が踊る機会が失われてしまいました。……もちろん、新型コロナ禍以前から、少子高齢化や過疎化によって継承の危機になる風流踊も少なくありません。〉

大勢でおどる——これはなにも風流踊にかぎったことではない。ほとんどすべての民俗芸能が大人数でなければ出来ない。いや、そもそも芸能は人が集まらなければ成立しない。その意味でも、人が集まることを否定する、コロナ禍は芸能にとっては切実な問題だった。それだけに、出演者も観客も、多人数ながら無事に終了できた今回の民俗芸能大会は、おおいに意味があったと思う。そうして、ユネスコの無形文化遺産への記載が、それぞれの民俗芸能の危機的状況の改善に貢献してくれることを願う。